

古 稀 を お 祝 い し て

中 間 敬 式 教 授 に 捧 げ る

執 筆 者 一 同



# 献 辞

中間敬式先生は、2004年1月3日にめでたく古希を迎えられます。

先生は、パルモア学院卒業後、しばらく実業界に身を置かれ、その間に関西外国語短期大学、関西大学商学部を卒業されました。その後、関西外国語短期大学教員を経て、1974年本学部専任講師として着任されました。以降、助教授を経て、83年教授に昇任され、今日に至っております。この間、そのあふれんばかりの情熱を研究・教育に注がれたばかりでなく、大学行政に関しても、商学部長、商学部長代理、商学部学生主任、商学部相談主事、国際交流主事、入学試験主事、大学院委員会委員などさまざまな役職に就任され、本学部のみならず本学の発展に大きく貢献してこられました。

本学部では長年「国際ビジネス英語」を担当され、数多くの優秀な学生を世に送り出してこられました。また研究面では、ご労作『商業英語の語法』をはじめとする多くの研究は、先生に学界での指導的地位をもたらすとともに、たえず後進に至るべきその目標を与えてきました。さらに国際ビジネスコミュニケーション学会の監事や研究年報委員も務められて同学会の発展に尽くされるとともに、日本商工会議所商業英語検定委員を務められるなど、実業界における英語教育にも努力を傾注してこられました。

温厚な紳士を思わすそのおもごしと内に秘められた情熱とをもって先生はたえず教え子に接しられたばかりか、後進の私たちに対してもつねに暖かい支援の手をさしのべて下さいました。長年本学部における専門外国語教育の運営の中心的役割を担っていただいたうえに、とりわけ長老と呼ばれるような立場になられても、本学部教員としての役職を数多く引き受けていただいたのは、先生の存在にいかに関わることがお頼り申し上げていたかを顕然と示すものといえましょう。このような先生が2004年3月末をもちまして関西大学を定年退職されるのは、寂しさの極みともいえるべきことでもあります。今はただ、今後ともますますご健勝にして、本学部ならびに商学会の行く末のためにご助言、ご鞭撻をお願い申し上げるばかりです。私たちは、ここに『関西大学商学論集』の特集号を捧げ、先生に深甚の感謝の意を表する次第です。

2003年10月10日

商学部長 羽 鳥 敬 彦